

HDS027-P09

会場:コンベンションホール

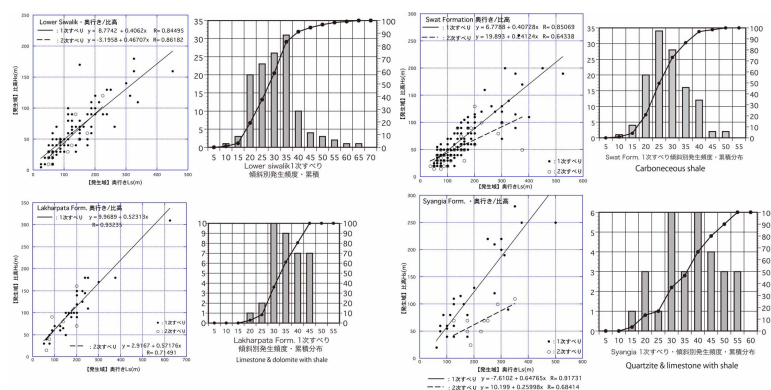
時間:5月24日 16:15-18:45

## ネパール中部低ヒマラヤ帯における地すべり分布図の作成と地すべりサスペンティビリティマップへの適用 Landslide inventory mapping in the Lower Nepal Himalayas and its implication for landslide susceptibility mapping

八木 浩司<sup>1\*</sup>, 佐藤 浩<sup>2</sup>  
HIROSHI YAGI<sup>1\*</sup>, Hiroshi, P. Sato<sup>2</sup>

<sup>1</sup> 山形大学地域教育文化学部, <sup>2</sup> 国土交通省国土地理院  
<sup>1</sup>Yamagata University, <sup>2</sup>Geospatial Information Authority, Japan

ネパール低ヒマラヤ帯中部にに対する空中写真判読により地すべり地形判読を行った。判読された地すべり地形のうち512例に対してその発生場の斜面傾斜, 見通し角, 発生場の斜面幅等の地形特性を計測し, それらの位置する地質帯ごとにまとめた。その結果, 各地質帯ごとに地すべりの発生しやすくなる斜面傾斜を明らかにすることが出来た(図1)。これを限界傾斜角と呼びこれらを活断層からの距離などの要因と重ね合わせることで, 地震地すべりを含む地すべりサスペンティビリティ地図作成に適用することを試みる。



キーワード: 地すべり地形分布図, ネパール低ヒマラヤ帯中部, 地質帯ごと発生場の地形特性, 限界傾斜角, 地すべりサスペンティビリティ地図, 活断層

Keywords: landslide inventory map, Lower Nepal Himalaya, geomorphologic feature of landslide, critical slope gradient, landslide susceptibility map, active fault